



杉戸農業高校の「まるまるパン」が 埼玉県ふるさと認証食品に認証されました！

県内の
学校初！

「埼玉県ふるさと認証食品」とは

主原料が全て埼玉県産で、食品添加物を極力使用しないなど、県の品質基準を満たしていることを県が認証した加工食品で、県全域で540商品が認証を受けています。春日部農林振興センターは県内一認証数が多く、117商品が認証されています。(令和元年5月31日現在)

埼玉県ふるさと認証食品のうち、学校が製造した商品の認証はなく、今回の杉戸農業高校の「まるまるパン」が県内学校初の認証となりました。令和元年6月25日に、杉戸農業高校で「まるまるパン」の認証書交付式を行いました。



▲「まるまるパン」認証書交付式

「まるまるパン」について

杉戸農業高校食品流通科の「開発研究班商品開発プロジェクト」では、2年前から小麦「ハナマンテン」の商品開発に取り組んでいます。

ハナマンテンを使用したパン生地は膨らみが弱く、生地が固くなる欠点があります。班員全員が課題と向き合い、生地を一晩寝かせる等の試行錯誤を重ね、もちもちとした食感の「まるまるパン」を完成させました。

今後は、パンに加え、高齢者でも食べやすいお菓子類も開発したいと生徒達が意気込みを語ってくれました。



▲杉戸農業高校
食品流通科の生徒の皆さん

【お問合せ】 地域支援担当 ☎048-737-2134



S-GAP 実践農場が新たに4農場誕生しました！

「S-GAP」って何？

S-GAPとは「良い(Good)農業の(Agricultural)やり方(Practice)」の略で、法律、規則やモラルを守り、食べる人や作る人の安全と生活環境の安全に配慮した持続可能な農業生産を確保し、より良い農業経営を実現する取組です。埼玉県では、GAPを普及するため、独自にマニュアルを策定し、これをS-GAP(埼玉スマートGAP)として、「埼玉県農業生産安全確認運動」を展開しています。

「S-GAP 農場評価」

S-GAP農場評価は、県の評価員がS-GAPに取り組む農場を訪問して、その取組割合を評価する制度です。これを活用すると、御自身の農業経営の良い点や改善点に気付くことができ、より良い農業の実践につなげることができます。

「S-GAP 実践農場が誕生」

今年度は、久喜市でネギを主体に露地野菜を生産するアグリグリーン株式会社(代表取締役 篠崎貴暁氏)や三郷市で主に小松菜を施設栽培する染谷哲央氏、株式会社ランドワークス(代表取締役 鈴木智之氏)、TSURUOKAファーム(鶴岡英俊氏)がS-GAP実践農場になりました。

当センター管内でのS-GAP実践農場は、水稻で4農場、野菜で10農場、果樹で2農場、全体で16農場となっています。

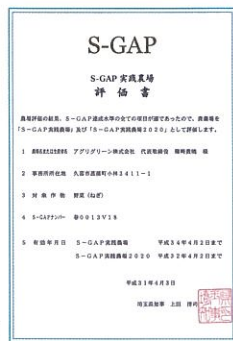
(令和元年7月末時点)

GAPは、効率的で信頼性の高い持続可能な農業経営を実現する取り組みです。皆さんもS-GAPの導入を是非ご検討ください。

S-GAP実践農場として評価された農場には、のぼりと評価書が交付されます。



のぼり



評価書

【お問合せ】 地域支援担当 ☎048-737-2134